



第3図(B). 2017年度採取土壌を用いた土壌微生物画分の呼吸活性(E)&(F)を説明変数、収量を目的変数とした重回帰分析結果(外れ値2点(8-B&10-A)を除く)。

$$\text{収量} = -16.1940 \times (E) + 1.6471 \times (F) + 624.0757$$

外れ値: 8-B, 10-A, データ数 27, 寄与率 0.462, 重相関係数(R2) 0.680, 自由度調整済決定係数 0.646, 残差正規性のSW検定確率 0.3657, 残渣の正規性ありとみなす。重回帰式の検定利用可能とみなす。重回帰式の有効性の検定 F検定値 10.2997, 自由度 2, 24, 確率値 0.0006, 重回帰式は有効であるといえる。AIC 284.302, DW比 1.193, VIF値 共に 1.015, 標準化係数: RA-U; -0.4669, RA-S; 0.5544